

西区子ども会育成連合会

指導者研修会 【全体会】

2015年4月18日（土）
西市民センター 第1・2会議室

全体会 テーマ

「子ども会ってなあ〜に？」

子ども会とは？

ひとことで言うと・・・

スポーツや文化行事、社会奉仕などを通し、
異年齢活動を体験する場です。

“生きて働く力を育てる”
を目標にしています。

①子ども会の歴史

子ども会の源流は、江戸時代における藩士の師弟の「**遊びの辻**」や、庶民の**寺子屋**にまで至る。

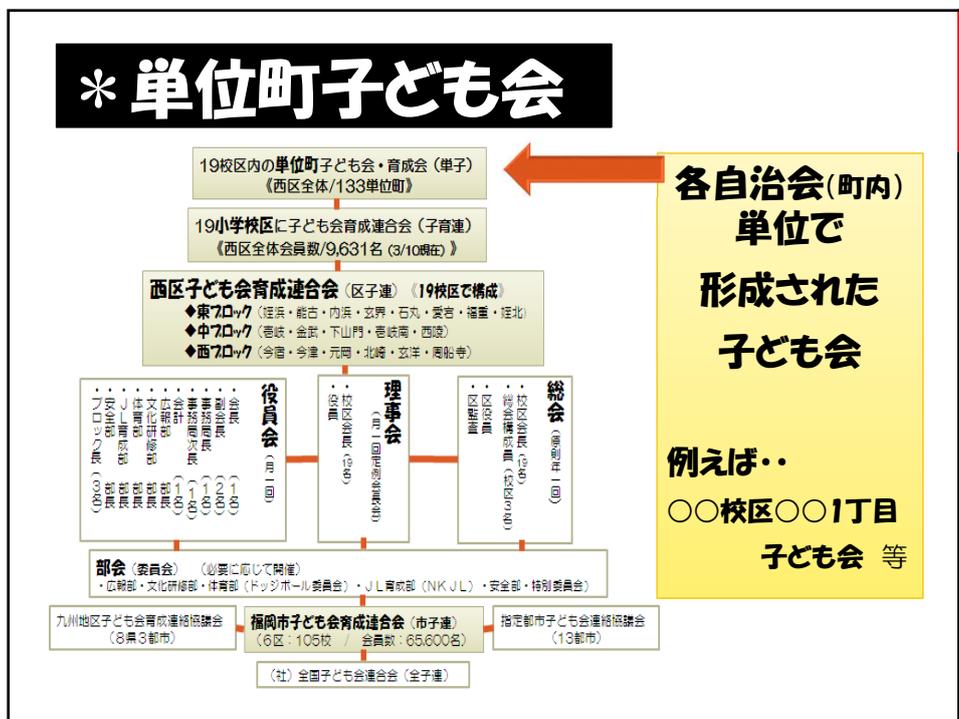
1965年（昭和40年）

全国子ども会連合会が発足

② 西区子ども会育成連合会 組織図



* 単位町子ども会



* フロック (組織一覧表より)

西区子ども会育成連合会 (区子連)

《19校区で構成》

◆東フロック

姪浜・能古・内浜・玄界・石丸・愛宕・福重・姪北

◆中フロック

壱岐・金武・下山門・壱岐南・西陵

◆西フロック

今宿・今津・元岡・北崎・玄洋・周船寺

* 部会 (組織一覧表より)

部会 (委員会) ⇒ 必要に応じて開催

- ・広報部
- ・文化研修部
- ・体育部(ドッジボール委員会)
- ・JL育成部(NKJL)
- ・安全部(校区会長が兼任)
- ・特別委員会

*ジュニアリーダー・シニアリーダー

ジュニアリーダー

➡中学生・高校生のリーダー

シニアリーダー

➡18歳～25歳までの青年

各校区が推薦する。西区現在 **86** 名



③西区子ども会育成連合会の主な行事

7月

親善球技大会(ソフトボール・ドッジボール)

【目的】

『体力向上とスポーツを通して
子ども達の親善と交流』

平成26年度参加校区

- ソフトボール **16**校区
- ドッジボール **14**校区



③西区子ども会育成連合会の主な行事

8月 地域づくりはリーダーづくり

子どもリーダー 一泊研修

【目的】

『各校区の子どもリーダーが、他校区の子ども達と様々な交流体験をすることにより、生きる力を育て、地域に活力を与える活動のできる子どもリーダーを育成する。また、NKJLが企画し運営することにより、ジュニアリーダーのレベルアップを図る』

平成26年度参加人数

子どもリーダー	73	人
ジュニアリーダー	31	人
シニアリーダー	14	人
		合計118人



③西区子ども会育成連合会の主な行事

11月 文化祭 みんなのステージ

【目的】

『情操教育を目的とした
文化事業・伝統文化の継承』

平成26年度出演校区・団体

8校区 1団体



③西区子ども会育成連合会の主な行事

1月 新年子ども会交歓会

(各ブロックにて開催)

【目的】

『新年を迎えた1月に、低学年から高学年まで楽しめるイベントを通し、特に他校区の子ども達との親善と交流』

平成26年度参加人数

東ブロック	126	人
中ブロック	91	人
西ブロック	104	人



子ども会って なんで必要なの？

本来、子ども達は遊ぶことが大好きです。

子どもは少しの合間を縫っても遊べる名人なのです。

昔ならどこにでもあった広場で、夕方遅くまで外にいても、
誰かしら気づいた大人が注意してくれた地域性。

そんな当たり前のことが、知らず知らずのうちに、
その光景を見ることがなくなってしまいました。

また、高学年が小さい子の面倒を見て、いい意味でのガキ大将を発揮し、
喧嘩していじめられていればかばったり、仲裁に入ったりして、
遊びの中心的役割を果たす子どもが見受けられなくなっています。

とくに最近、その機会と場を失っていると言わざるを得ません。

ケイタイ、インターネット、ゲーム等、
人間と直接の関わりを持たずに成長した子どもが、
どのような大人になり、上手に人間関係を保持できるのでしょうか。

子ども会とは、異年齢集団活動を体験する場です。

遊びの中から、各人が自分の頭で考え、行動し、その結果について責任をとっているかどうか。

相手の立場になってものを考えているかどうか、
また自分と異なった意見に対して寛容であるかどうか等、

工夫や知恵が生まれ、ルールを学び、
体験することによって社会教育が養われます。

家庭のしつけ、学校教育が大切なことは当然ですが、

仲間との遊びを通しての 共通体験が大切です。

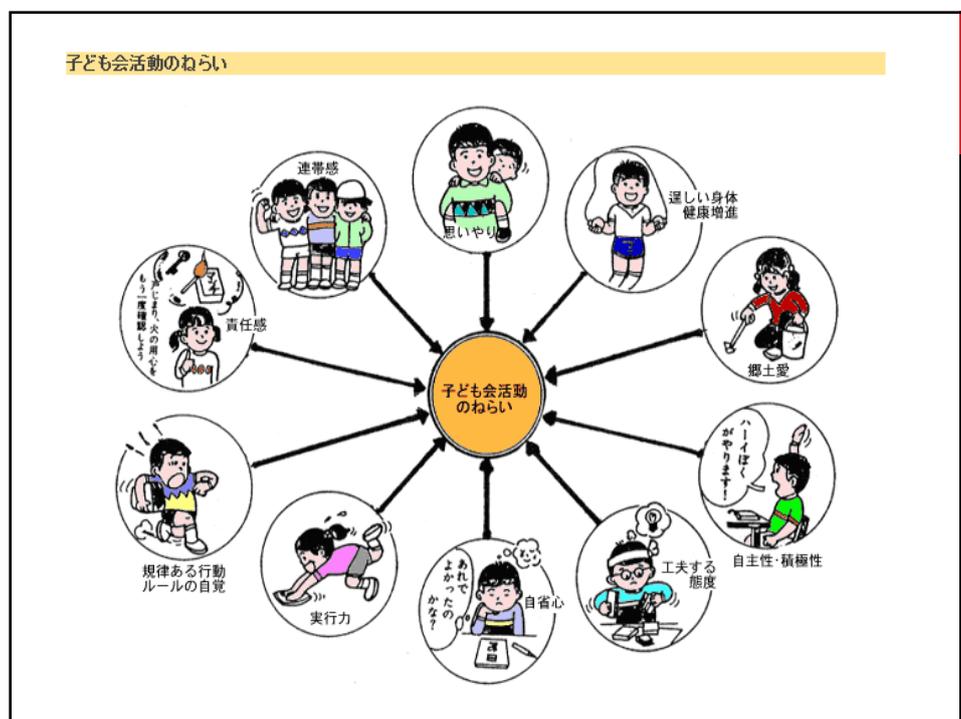
子どもの目の高さにあわせて
まわりを見てください。

子どもがいま何を考え、
行動しようとしているのか、
子どもの目線にあわせてみてください。

失敗してガックリ。
負けちゃって涙する。

おもしろかったら目を輝かせて
子どもたちは話しかけてきます。

子どもたちは、感動する心、
それを与える心を
持っています。
それを受け入れる器、
それが**子ども会**では
ないでしょうか。





**大切な子どもたちの輝く未来のために
私たち大人も頑張りましょう！！**